科目名	43. 与薬に伴う技術				
履修年次	２年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	１単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	診療の補助に必要な知識と技術を習得することができる				
到達目標	１）診療過程に関わる看護の基本技術を行う上で、対象に及ぼす身体的・心理的苦痛を踏まえ、安全・安楽に配慮した与薬に伴う技術を習得することができる ２）安全で安楽な技術を習得するために自己課題に計画的に取り組もうとしている				
評価方法	筆記試験（100点）				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③　医学書院				
参考文献					
教育方法と学生への期待 (求めること)	与薬に伴う技術は、対象者に対して安全・安楽・正確に実施する必要があり、技術の根拠を理解することが重要となります。 講義・演習では事前学習が必要であり、それをもとにグループで検討することを重視します。また、演習では学生間で患者役・看護師役を交代しながら学習し、「あとは自己学習（練習）すれば技術習得できる」ことを目指し、自己学習（練習）のポイントをつかみましょう。特に注射針や無菌物を取り扱う看護技術は、演習の時間内でしか体験できないので、演習用紙やチェックリストで自己評価・他者評価し、自己の技術の完成度を高められるよう取り組んでください。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	与薬の基礎知識①	薬物の使用目的 与薬方法と吸収速度	講義 演習
2	与薬の基礎知識②	薬物動態 与薬における看護師の役割（安全な与薬と管理）	講義 演習
3	経口与薬・口腔内与薬①	経口・口腔内与薬の種類と特徴 経口・口腔内与薬の実施方法	講義 演習
4	経口与薬・口腔内与薬 吸入・点眼・点鼻② 経皮的与薬・直腸内与薬②	経口薬（バッカル錠、内服薬、舌下錠）の投与 薬剤の管理	演習 （実習室）

5	吸入・点眼・点鼻① 経皮的与薬・直腸内与薬①	吸入・点眼・点鼻：種類と特徴、実施方法 経皮的与薬・直腸内与薬：種類と特徴、実施方法	講義 演習
6	経口与薬・口腔内与薬③ 吸入・点眼・点鼻③ 経皮的与薬・直腸内与薬③	経皮・外用薬の投与	演習 (実習室)
7	注射①	注射方法の種類と特徴 注射方法と吸収速度 注射に使用される物品の種類と構造 正確で安全な注射実施のための看護師の役割と責任 注射の準備	講義 演習
8	注射② 皮下注射・皮内注射・筋肉注射	皮下注射の概要と実施方法 皮内注射の概要と実施方法 筋肉注射の概要と実施方法	講義 演習
9	注射③ 皮下注射・筋肉注射	援助の実際	演習 (実習室)
10	注射④ 静脈内注射・点滴静脈内注射	静脈内注射の概要と実施方法 点滴静脈内注射の概要と実施方法（混注）	講義 演習
11	注射⑤ 点滴静脈内注射・中心静脈カテーテル	点滴静脈内注射の管理 中心静脈カテーテル留置の概要と管理	講義 演習
12	注射⑥ 点滴静脈内注射・管理	援助の実際	演習 (実習室)
13	輸血管理①	輸血療法の概要と目的 輸血療法の種類と管理方法	講義 演習
14	輸血管理②	輸血の副作用 輸血の実施方法	演習 (実習室)
15	与薬	与薬に伴う技術のアセスメント	講義 演習